全国市議会旬報
ぜんこくしぎかいじゅんぽう
第2163号
令和3年（2021年）7月25日
毎月3回5の日に発行
発行　全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人　滝本　純生
https://www.si-gichokai.jp
議長会HP

固定資産税 特例措置

今年度限りで終了を

第155回地方財政委員会

八重樫地方財政委員長（北上市）

第155回地方財政委員会（委員長＝八重樫七郎北上市議会議長）が７月７日に開催された。冒頭、八重樫委員長は、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保について決意を表明。オブザーバとして出席した篠原藤雄副会長（岩見沢市議会議長）も地方税財源の確保に全力で取り組む意向を述べ、協力を求めた。

地方財政は社会保障費の増大など財政需要の高まりを受けて、毎年４兆円を超える財源不足で、さらに新型コロナの影響により財源不足額の拡大が危惧されている。

同委員会では地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実、地方税制の拡充強化―などに関する要望を決定した。

地方財政委員会要望事項

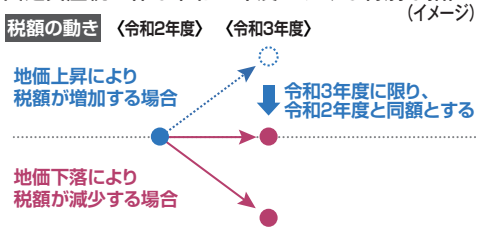
1　地方税財政
①地方税・地方交付税等の一般財源総額の充実・確保等②地方税財源の確保・充実③政令指定都市・中核市・施行時特例市に対する税制上の特例措置の充実④地方税法の改正時期

2　地方債計画
①地方債資金の確保②起債対象事業の拡大等③緊急防災・減災事業債制度の恒久化・拡充④地方創生を総合的に支援する地方債の創設⑤公共施設等適正管理推進事業債の延長⑥合併特例債の制度拡充⑦過疎対策事業債の所要額確保⑧公的資金保証金免除繰上償還の再実施⑨元利償還金に対する地方交付税措置

3　地方公営企業
①公営企業操出金等の所要額確保②地方公営企業に対する財政措置の充実③地方公営企業の広域化等への支援

4　国庫補助金
①国庫補助負担金の廃止②直轄事業負担金制度の抜本的見直し

固定資産税に係る令和３年度における特別な措置（イメージ）



※ 商業地等・住宅用地・農地など全ての土地について適用
（総務省資料から）

要望は、地方税・地方交付税の一般財源総額の充実確保を求める一方、その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行の縮減を図り、償還財源を確保し、平成27年度以来改正されていない地方交付税の法定率の引き上げを含めた抜本的な見直しを求めている。

特に来年度税制改正の焦点となる固定資産税は、令和３年度は３年に一度の固定資産税の評価替えの年だったが、新型コロナの影響による経済対策で、地価上昇により税額が上がる場合も、税額を２年度と同額とする負担調整を講じて、土地所有者の負担抑制が図られた。

宮路総務大臣政務官（左）

要望では、本来、国の経済対策として実施した施策を市町村の基幹税となる固定資産税を用いて行うべきではなく、今年度限りの特例措置として、確実な終了を求めている。

地方債計画では、地域活性化事業債等の一般単独事業債の所要額確保、起債対象事業の拡大、償還期限の延長のほか、緊急防災・減災事業制度の恒久化や地方の実情を踏まえた対象事業拡大を求めている。

また公営交通及び自治体病院の経営基盤の強化、水道施設の再構築及び安全強化のための整備に関する国庫補助採択基準の緩和、上下水道の施設整備に対する財政措置を求めている。

当日は、総務省自治税務局の田辺康彦企画課長が「地方税制の動向と課題」、同省自治財政局の出口和宏財政課長が「地方財政を巡る最近の動向」についてそれぞれ説明した。

会議終了後、八重樫委員長は、総務省を訪れ、宮路拓馬総務大臣政務官に要望を行った。

農林水産業 中小企業

支援求める

第171回産業経済委員会

第171回産業経済員会（委員長＝池添義春寝屋川市議会議長）が7月13日付で書面開催され、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林水産業・中小企業等への支援などについて求める要望書を決定した。

要望書では、農林水産業共通対策としてコロナ禍の影響による減収対応など経営支援対策の充実強化や担い手の育成・確保、有害鳥獣等による被害防止対策などを求めた。

池添産業経済委員長（寝屋川市）

農業・林業個別の振興対策については、農業の持続的な発展のための先端技術を活用した「スマート農業」の推進や、森林整備による防災・減災対策の推進などを要望した。

そのほか、中小企業への支援や、資源・エネルギー対策として、再生可能エネルギーの利用拡大や導入支援など7事項について要望している（**要望書は本会HP掲載**）。

産業経済委員会要望事項

1 **農林水産業共通対策**
①経営支援対策の充実強化②持続的な発展に関する施策の推進③担い手の育成・確保④野生鳥獣等による農林水産物被害防止対策の充実強化⑤ＴＰＰ等関連施策の実施と予算措置⑥原子力発電所事故に伴う各国・地域の輸入規制の緩和・撤廃

2 **農業振興対策**
①経営支援対策の充実強化②農業農村整備事業関連予算の安定的確保③農業の持続的な発展に関する施策の推進④食料自給率向上、国産農産物の消費拡大に資する施策の推進⑤畜産・酪農等の経営安定対策の充実強化

3 **林業振興対策**
①林業の持続的な発展に関する施策の推進②森林経営管理法の円滑な施行に係る支援③森林整備の拡充④森林整備による防災・減災対策の推進

4 **水産業振興対策**
①漁業者に対する経営支援策等の強化②水産業の持続的な発展に関する施策の推進③外国漁船対策④海洋ごみ対策

5 **食の安全及び消費者の信頼確保対策**
①食の安全性確保への取組②輸入食材等の安全確保③消費者安心・安全確保対策の推進

6 **中小企業振興対策等**
①中小企業への支援②地域経済の活性化のための経済対策の推進③地域資源の活用促進④地域商業の振興⑤下請け中小企業の保護

7 **資源・エネルギー対策**
①再生可能エネルギー関連施策等の推進②原子力発電の安全確保等

新庁舎落成

▽**陸前高田市**（岩手県）
〒029－2292
高田町字下和野1
電話番号、ファクス番号は変更なし

議会フロアは6～7階。議場は2フロアにわたっており、最上階に配置された傍聴席から、6階議場の議員・市執行部の双方が見やすい構造となっている。

陸前高田市役所新庁舎（写真提供＝陸前高田市）

議場（同左）

サマージャンボ 発売

収益は自治体財源に

サマージャンボ宝くじの販売が7月13日、スタートした。

1等の当選金額は前後賞合わせ7億円。期間は8月13日まで。

サマージャンボ宝くじは、秋のハロウィンジャンボとともに「市町村振興宝くじ」として、売り上げ金のうち34・4％が市町村（政令指定都市除く）に交付され、自治体にとって貴重な財源の一つとして住民の健康福祉増進などに役立っている。

売り上げ金は近年減少傾向にあったが、昨年度はサマージャンボ、ハロウィンジャンボともに増加。特にネット販売が好調で、コロナ禍に苦しむ地方財政の一助となることが期待されている。

宝くじ公式サイト

第3回 副会長市紹介

静岡市

市章

薩埵（さった）峠からの富士山
（写真提供＝静岡市）

【市の概要】

▽**人口**　69万1810人（令和3年6月30日）

▽**面積**　1411・83㎢

▽**歴史・沿革**　廃藩置県（明治4年）までの約1200年間、駿河の国の中心都市「駿府」として栄えた。明治22年4月市政施行。平成15年4月に静岡市、清水市が合併して新「静岡市」が誕生、その後2町を編入して現在の市域となった。同17年4月政令指定都市移行。同28年3月連携中枢都市宣言し、焼津市と連携協約を締結。同29年3月に近隣3市2町にも協約を広げ、「しずおか中部連携中枢都市圏」を形成した。

▽**シンボル**　市章は市名の頭文字「S」イメージを基本に、富士山と駿河湾の波を表したデザイン。シンボルカラーのブルーを使った。市の花はタチアオイ、木はハナミズキ、鳥はカワセミ。

【議会の概要】

▽**議員定数**　48人（現在・男性45人、女性3人）

▽**前回選挙**　令和3年3月28日。立候補63人。投票率40・13％。

▽**議会トピックス**　平成31年2月定例会で、全議員発議の市がん対策推進条例を可決した。同30年7月に議会に条例検討会を設置、7回にわたり会議を重ね、条例案を詰めてきた。今年3月、同条例に基づき対策推進計画が策定され、市のがん対策がさらに強化された。

議長の話

鈴木和彦議長

本市は、静岡県のほぼ中央に位置し、山間部に南アルプス国立公園など雄大な自然環境、南部に日本平や世界文化遺産の構成資産でもある三保松原ほか、史跡・旧跡を有する自然、歴史・文化にあふれるまちです。お茶、柑橘類、わさびなどの食材や家具、サンダル、プラモデルなどの特産品でも知られるほか、春の「静岡まつり」、夏の「清水みなと祭り」、秋の「大道芸ワールドカップ」など季節のイベントも豊富です。皆様のご来訪を心からお待ちしております。

議会人事

▼議長
▽大分　藤田敬治（3・10）
▽山口　伊藤　斉（4・26）
▽丸亀　真鍋順穂（5・7）
▽宮崎　鈴木一成（5・10）
▽津山　津本辰己（5・11）
▽串間　瀬尾俊郎（5・11）
▽小千谷　本田　剛（5・12）
▽駒ヶ根　小林敏夫（5・12）
▽茅野　樋口敏之（5・12）
▽上天草　桑原千知（5・12）
▽常滑　伊奈利信（5・13）
▽大阪狭山　鳥山　健（5・13）
▽井原　大滝文則（5・13）
▽福生　清水義朋（5・14）
▽南足柄　石川貴久雄（5・14）
▽袋井　戸塚哲夫（5・14）
▽みよし　水野隆市（5・14）
▽枚方　有山正信（5・14）
▽上山　長澤長右衛門（5・17）
▽岡谷　小松　壮（5・17）
▽佐久　柳澤　潔（5・17）
▽磐田　寺田幹根（5・17）
▽鈴鹿　森　雅之（5・17）
▽木津川　森本　隆（5・17）
▽相生　角石茂美（5・17）
▽枕崎　永野慶一郎（5・17）
▽寒河江　國井輝明（5・18）
▽長井　浅野敏明（5・18）
▽松本　芝山　稔（5・18）
▽青梅　鴨居孝泰（5・18）
▽平塚　数田俊樹（5・18）
▽富士宮　遠藤英明（5・18）
▽名古屋　服部将也（5・18）
▽岸和田　乗原佳一（5・18）
▽四條畷　吉田裕彦（5・18）
▽八幡　岡田秀子（5・18）
▽宝塚　三宅浩二（5・18）
▽玉野　高原良一（5・18）
▽新潟　古泉幸一（5・19）
▽世田谷　下山芳男（5・19）
▽杉並　大和田伸（5・19）
▽龍ケ崎　滝沢健一（5・19）
▽鎌ケ谷　泉川洋二（5・19）
▽守口　福西寿光（5・19）
▽門真　五味聖二（5・19）
▽高石　清水明治（5・19）
▽藤井寺　岡本　光（5・19）
▽大津　桐田真人（5・19）
▽彦根　谷口典隆（5・19）
▽坂出　斉藤義明（5・19）
▽西予　佐藤恒夫（5・19）
▽大館　藤原　明（5・20）
▽山形　鈴木善太郎（5・20）
▽福井　皆川信正（5・20）
▽矢板　今井勝巳（5・20）
▽流山　森　亮二（5・20）
▽浜松　和久田哲男（5・20）
▽一宮　花谷昌章（5・20）
▽高浜　柳沢英希（5・20）
▽堺　池尻秀樹（5・20）
▽京都　田中明秀（5・20）
▽室蘭　児玉智明（5・21）
▽士別　遠山昭二（5・21）
▽恵庭　野沢宏紀（5・21）
▽新発田　若月　学（5・21）
▽武蔵村山　田口和弘（5・21）
▽北　名取ひであき（5・21）
▽板橋　坂本あずまお（5・21）
▽結城　早瀬悦弘（5・21）
▽伊勢崎　吉山　勇（5・21）
▽勝浦　松﨑栄二（5・21）
▽大牟田　光田　茂（5・21）
▽伊万里　坂本繁憲（5・21）
▽佐世保　田中　稔（5・21）
▽函館　浜野幸子（5・24）
▽東大和　関田正民（5・24）
▽新宿　桑原ようへい（5・24）
▽渋谷　斎藤竜一（5・24）
▽中野　内川和久（5・24）
▽小田原　大川　裕（5・24）
▽北本　工藤日出夫（5・24）
▽宇治　堀　明人（5・24）
▽糸魚川　松尾徹郎（5・25）
▽江東　榎本雄一（5・25）
▽目黒　おのせ康裕（5・25）
▽豊島　磯　一昭（5・25）
▽荒川　賞谷元昭（5・25）
▽江戸川　福本光浩（5・25）
▽鎌倉　中村聡一郎（5・25）
▽豊中　大野妙子（5・25）
▽城陽　谷　直樹（5・25）
▽宍粟　飯田吉則（5・25）
▽田辺　北田健治（5・25）
▽善通寺　林野忠弘（5・25）
▽飯塚　松延隆俊（5・25）
▽日高　大澤博行（5・26）

▽昭島　三田俊司（5・27）
▽墨田　木内　清（5・27）
▽品川　本多健信（5・27）
▽大田（東京）　鈴木隆之（5・27）
▽足利　栗原　収（5・27）
▽三鷹　土屋けんいち（5・28）
▽千代田　桜井ただし（5・28）
▽春日部　栗原信司（5・28）
▽銚子　地下誠幸（5・28）
▽大阪　丹野壮治（5・28）
▽中央（東京）　木村克一（5・31）
▽川崎　橋本　勝（5・31）
▽東松山　関口武雄（5・31）
▽栗東　三木敏嗣（5・31）
▽川越　桐野　忠（6・1）
▽越谷　竹内栄治（6・1）
▽ふじみ野　西　和彦（6・1）
▽知多　勝崎泰生（6・1）
▽東村山　土方　桂（6・2）
▽筑西　増渕慎治（6・2）
▽熊谷　大久保照夫（6・2）
▽深谷　武井伸一（6・2）
▽瑞穂　広瀬武雄（6・2）
▽加西　原田久夫（6・2）
▽喜多方　坂内鉄次（6・3）
▽小浜　小澤長純（6・3）
▽木更津　重城正義（6・3）
▽吹田　石川　勝（6・3）
▽姫路　萩原唯典（6・3）
▽武蔵野　土屋美恵子（6・4）
▽練馬　かしわざき強（6・4）
▽和光　齊藤克己（6・4）
▽蓮田　齋藤昌司（6・4）
▽和歌山　吉本昌純（6・4）
▽日置　池満　渉（6・4）
▽八王子　吉本孝良（6・7）
▽調布　小林市之（6・7）
▽東久留米　篠宮正明（6・7）
▽千葉　川村博章（6・7）
▽白井　岩田典之（6・7）
▽沼津　浅原和美（6・7）
▽芦屋　松木義昭（6・7）
▽熊本　原口亮志（6・7）
▽小平　松岡あつし（6・8）
▽清瀬　斉藤　実（6・8）
▽足立　古性重則（6・8）
▽久留米　石井俊一（6・8）
▽江津　永岡靜馬（6・9）
▽さいたま　島崎　豊（6・10）
▽所沢　大舘隆行（6・10）
▽島田　大石節雄（6・10）
▽岐阜　谷藤錦司（6・10）
▽橋本　小林　弘（6・10）
▽対馬　初村久藏（6・10）
▽神戸　坊やすなが（6・11）
▽水俣　牧下恭之（6・11）
▽下妻　廣瀬　榮（6・14）
▽加須　新井好一（6・14）
▽市川　金子　正（6・14）
▽尾道　高本訓司（6・14）
▽吉野川　塩田智子（6・14）
▽大川　平木一朗（6・14）
▽津久見　髙野幹也（6・14）
▽江別　宮本忠明（6・15）
▽呉　北川一清（6・15）
▽古河　鈴木　隆（6・18）
▽尾鷲　三鬼和昭（6・18）
▽西宮　草加智清（6・18）
▽島原　馬渡光春（6・18）
▽甲府　廣瀬集一（6・23）
▽行田　吉田豊彦（6・23）
▽福岡　伊藤嘉人（6・23）
▽文京　田中としかね（6・24）
▽石岡　菱沼和幸（6・24）
▽河内長野　堀川和彦（6・24）
▽新宮　大西　強（6・24）
▽東広島　石原賢治（6・24）
▽徳島　井上　武（6・24）
▽千歳　山崎昌則（6・25）
▽富士吉田　小俣光吉（6・25）
▽熱海　越村　修（6・25）
▽船橋　渡辺賢次（6・28）
▽市原　岡　泉（7・1）
▽富士　米山享範（7・1）
▽大和郡山　東川勇夫（7・1）

▼副議長

▽大分　佐藤和彦（3・10）
▽山口　村上満典（4・26）
▽丸亀　福部正人（5・7）
▽宮崎　島田健一（5・10）
▽多摩　橋本由美子（5・11）
▽津山　中島完一（5・11）
▽串間　福留成人（5・11）
▽小千谷　駒井和彦（5・12）
▽駒ヶ根　氣賀澤葉子（5・12）
▽茅野　松山孝志（5・12）
▽上天草　田中方里（5・12）
▽世田谷　岡本のぶ子（5・13）
▽常滑　都築周典（5・13）
▽大阪狭山　北　好雄（5・13）
▽井原　荒木謙二（5・13）
▽福生　武藤政義（5・14）
▽南足柄　臼井忠欣（5・14）
▽袋井　伊藤謙一（5・14）
▽みよし　林　文夫（5・14）
▽枚方　岩本優祐（5・14）
▽宇陀　西岡宏泰（5・14）
▽上山　石山正明（5・17）
▽岡谷　今井康善（5・17）
▽佐久　吉川友子（5・17）
▽磐田　松野正比呂（5・17）
▽鈴鹿　山中智博（5・17）
▽鳥羽　河村　孝（5・17）
▽木津川　伊藤紀味枝（5・17）
▽相生　中野有彦（5・17）
▽新居浜　藤田誠一（5・17）
▽枕崎　吉嶺周作（5・17）
▽寒河江　伊藤正彦（5・18）
▽長井　鈴木富美子（5・18）
▽松本　上條美智子（5・18）
▽青梅　結城守夫（5・18）
▽平塚　鈴木晴男（5・18）
▽浦安　小林章宏（5・18）
▽富士宮　小松快造（5・18）
▽名古屋　中村　満（5・18）
▽岸和田　反甫　旭（5・18）
▽四條畷　吉田涼子（5・18）
▽八幡　福田佐世子（5・18）
▽宝塚　浅谷亜紀（5・18）
▽玉野　大月博光（5・18）
▽新潟　金子益夫（5・19）
▽加茂　白川克広（5・19）
▽杉並　山本ひろ子（5・19）
▽龍ケ崎　久米原孝子（5・19）
▽鎌ケ谷　針貝和幸（5・19）
▽中津川　水野賢一（5・19）
▽守口　西田久美（5・19）
▽門真　松本京子（5・19）
▽高石　松本善弘（5・19）
▽藤井寺　木下　誇（5・19）
▽大津　草野聖地（5・19）
▽彦根　上杉正敏（5・19）
▽坂出　茨　智仁（5・19）
▽西予　宇都宮俊文（5・19）
▽大館　田中耕太郎（5・20）
▽山形　須貝太郎（5・20）
▽福井　玉村正人（5・20）
▽矢板　藤田欽哉（5・20）
▽流山　菅野浩考（5・20）
▽浜松　戸田　誠（5・20）
▽一宮　竹山　聡（5・20）
▽高浜　杉浦康憲（5・20）
▽堺　池田克史（5・20）
▽京都　吉田孝雄（5・20）
▽室蘭　早坂　博（5・21）
▽恵庭　小橋　薫（5・21）
▽新発田　中村　功（5・21）
▽武蔵村山　遠藤政雄（5・21）
▽北　小田切かずのぶ（5・21）
▽板橋　かいべとも子（5・21）
▽結城　大橋康則（5・21）
▽伊勢崎　須永　聡（5・21）
▽勝浦　戸坂健一（5・21）
▽大牟田　森田義孝（5・21）
▽伊万里　盛　泰子（5・21）
▽佐世保　永安健次（5・21）
▽東大和　佐竹康彦（5・24）
▽新宿　豊島あつし（5・24）
▽渋谷　薬丸義人（5・24）
▽中野　酒井たくや（5・24）
▽小田原　木村正彦（5・24）
▽北本　高橋伸治（5・24）
▽宇治　長野恵津子（5・24）
▽目黒　いいじま和代（5・25）
▽豊島　辻　薫（5・25）
▽江戸川　堀江創一（5・25）
▽鎌倉　日向慎吾（5・25）
▽豊中　高木公香（5・25）
▽城陽　乾　秀子（5・25）
▽宍粟　大久保陽一（5・25）
▽田辺　尾花　功（5・25）
▽善通寺　安井一博（5・25）
▽日高　森崎成喜（5・26）
▽昭島　篠原有加（5・27）
▽墨田　じんの博義（5・27）
▽品川　塚本よしひろ（5・27）
▽大田（東京）　岡元由美

▽足利　小林貴浩（5・27）
▽三鷹　寺井　均（5・28）
▽千代田　岩佐りょう子（5・28）
▽栃木　広瀬義明（5・28）
▽春日部　水沼日出夫（5・28）
▽銚子　石神嘉明（5・28）
▽大阪　西川ひろじ（5・28）
▽中央（東京）　中島賢治（5・31）
▽川崎　織田勝久（5・31）
▽東松山　利根川敬行（5・31）
▽栗東　片岡勝哉（5・31）
▽川越　川口啓介（6・1）
▽越谷　大野保司（6・1）
▽ふじみ野　川畑京子（6・1）
▽東村山　村山じゅん子（6・2）
▽筑西　稲川新二（6・2）
▽熊谷　小島正泰（6・2）
▽深谷　五間くみ子（6・2）
▽瑞穂　今木啓一郎（6・2）
▽加西　中右憲利（6・2）
▽秋田　熊谷重隆（6・3）
▽喜多方　佐藤忠孝（6・3）
▽小浜　竹本雅之（6・3）
▽水戸　大津亮一（6・3）
▽木更津　草刈慎祐（6・3）
▽吹田　池渕佐知子（6・3）
▽姫路　山崎陽介（6・3）
▽練馬　吉田ゆりこ（6・4）
▽和光　安保友博（6・4）
▽蓮田　高橋健一郎（6・4）
▽和歌山　薮　浩昭（6・4）
▽都城　上坂月夫（6・4）
▽日置　坂口洋之（6・4）
▽柏崎　栁澤　均（6・7）
▽敦賀　中野史生（6・7）
▽八王子　中島正寿（6・7）
▽調布　丸田絵美（6・7）
▽東久留米　永田雅子（6・7）
▽白井　血脇敏行（6・7）
▽沼津　深田　昇（6・7）
▽芦屋　青山　暁（6・7）
▽熊本　園川良二（6・7）
▽小平　山岸真知子（6・8）
▽清瀬　森田正英（6・8）
▽足立　渕上　隆（6・8）
▽千葉　森山和博（6・8）
▽野田　染谷信一（6・8）
▽久留米　市川廣一（6・8）
▽さいたま　松下壮一（6・10）
▽所沢　石本亮三（6・10）
▽岐阜　富田耕二（6・10）
▽橋本　森下伸吾（6・10）
▽対馬　黒田昭雄（6・10）
▽小松　南藤陽一（6・11）
▽神戸　沖久正留（6・11）
▽高知　西森美和（6・11）
▽水俣　谷口明弘（6・11）
▽市川　大場　諭（6・14）
▽尾道　柿本和彦（6・14）
▽吉野川　田村修司（6・14）
▽大川　筬島かおる（6・14）
▽津久見　黒木章三（6・14）
▽網走　金兵智則（6・15）
▽江別　島田泰美（6・15）
▽呉　林田浩秋（6・15）
▽土浦　勝田達也（6・17）
▽古河　赤坂育男（6・18）
▽西宮　川村よしと（6・18）
▽島原　林田　勉（6・18）
▽甲府　天野　一（6・23）
▽行田　加藤誠一（6・23）
▽白岡　大島　勉（6・23）
▽福岡　山口剛司（6・23）
▽文京　山本一仁（6・24）
▽石岡　勝村孝行（6・24）
▽河内長野　道端俊彦（6・24）
▽東広島　加藤祥一（6・24）
▽徳島　加村祐志（6・24）
▽千歳　小林千代美（6・25）
▽富士吉田　渡辺新喜（6・25）
▽川口　江袋正敬（6・25）
▽熱海　赤尾光一（6・25）
▽広島　若林新三（6・25）
▽小山　橋本守行（6・28）
▽船橋　藤代清七郎（6・28）
▽あわら　卯目ひろみ（7・1）
▽市原　渡辺直樹（7・1）
▽富士　海野庄三（7・1）
▽松山　菅　泰晴（7・1）

▼事務局長

▽宍粟　小谷慎一（2・4・1）
▽江別　三上真一郎（4・1）
▽大崎　遠藤富士隆（4・1）
▽茅野　藤森　隆（4・1）
▽調布　小島伸夫（4・1）
▽千代田　小川賢太郎（4・1）
▽鎌倉　服部計利（4・1）
▽浦安　佐藤栄一（4・1）
▽浜松　大橋臣夫（4・1）
▽富士宮　久保田雅史（4・1）
▽西尾　石川年克（4・1）
▽鈴鹿　坂　良直（4・1）
▽名張　吉岡恵子（4・1）
▽中津川　小関智幸（4・1）
▽大阪狭山　山崎正弘（4・1）
▽京丹後　横島勝則（4・1）
▽栗東　伊勢村文二（4・1）
▽養父　井上隆司（4・1）
▽宇陀　林英一郎（4・1）
▽江津　和田光信（4・1）
▽玉野　杉本成司（4・1）
▽下関　岡本善隆（4・1）
▽水俣　設楽　聡（4・1）
▽大分　板井　隆（4・1）
▽龍ケ崎　猪野瀬武（5・1）
▽小美玉　戸塚康志（5・26）

訃報

佐山（さやま）　正（ただし）氏（伊東市議会議長）7月10日逝去、72歳。葬儀は7月14日、市内で執り行われた。喪主は妻の恵子さん。

実務講習会ご案内　「議会からの政策サイクルの到達点と課題～先駆議会から学ぶ」

RILG 一般財団法人 地方自治研究機構 Research Institute for Local Government

1　概　要
議会からの政策サイクルに焦点をあて、学識経験者による講演、先駆議会からの改革の事例紹介、受講者を交えたワークショップを通じて必要な知識等を習得します。

2　日　時
令和3年10月15日（金）　13:00～16:45
全国都市会館3階　第1会議室
（東京都千代田区平河町2−4−2）

3　内　容
13:00～13:40
【講演】「議会からの政策サイクルの到達点と課題」
大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭 氏
13:50～14:50
【事例紹介】会津若松市議会、可児市議会
15:00～16:00
【ワークショップ】「議会からの政策サイクルの課題」
16:00～16:45
【質疑応答・まとめ】

4　受講料（教材費・税込）
賛助会員10,000円　非賛助会員15,000円

5　お申込み専用フォーム
https://krs.bz/rilg/m/rilg_koshu
なお、オンラインで受講を希望される場合は、「備考」欄に、「オンライン受講希望」と記載してください。

6　申込期限
令和3年10月8日（金）

7　お問合せ先
一般財団法人地方自治研究機構　研修部
電　話　03-5148-0662
E-mail　koshu@rilg.or.jp

8　オンライン受講に関する留意事項
YouTubeにより配信いたします。見逃し配信の期間は10/20～11/2になります。
（YouTubeを視聴するための端末や通信費用は受講者の負担となります。）

9　その他
詳細につきましては、実施要領を御参照ください。
http://www.rilg.or.jp/htdocs/img/003/pdf/r3_seisakucycle.pdf

全国市議会議員互助会の保険

全国市議会議員団体補償制度のご案内

保険期間　令和3年8月1日から1年間

特定感染症危険補償特約が付帯されました！
個人賠償責任特約の補償内容が拡大しました！

全国市議会議長会
議員専用ページ

スマートフォン
サイトはコチラ

全国市議会議員互助会は、全国の市議会議員の相互の交流親睦を深め、相互扶助を行うことを目的に、任意加入の保険として傷害総合保険の「全国市議会議員団体補償制度」と疾病やけがによる入院・手術を補償する「全国市議会議員医療保険制度」の事業を行っています。

「けがの補償」「賠償の補償」充実の補償をご提供

本制度は、議員の皆様の福利厚生制度の一環として、日常生活における「けが」と「賠償」をセットで補償する保険です。

一般の保険に加入するよりも有利な保険料・補償範囲となっています。

「けがの補償」は、日本国内・海外を問わず、通勤途上、公務中、家庭内、職場内、旅行中など、日常生活におけるあらゆるけがを補償します。地震などの天災事故によるけがも補償します。

「賠償の補償」は、本人だけでなく、配偶者や同居の親族などが日常生活において、他人をけがさせたり、他人の財物を壊したりしたことにより、法律上の賠償責任が発生した場合に補償します。

今年度は新たに「特定感染症危険補償特約」が付帯され、「個人賠償責任特約」の補償内容が拡大しました。

加入対象は市議会議員　夫婦型で配偶者も補償　退職時に継続加入可能

市議会議員の皆様であれば、どなたでも加入でき、加入に際して医師の診査は不要です。夫婦型への加入で、配偶者も保険の対象となります。

また、議員を退職される方で、保険契約の継続を希望される場合は、引き続き加入することができます。

保険期間は8月1日から　中途加入も随時受付

保険期間は、毎年8月1日から1年間で、中途加入も随時受け付けており、特段の申し出がない限り、翌年度以降も自動更新となります。

本制度に継続して加入されている方は、8月1日補償開始時（契約更新時）のみ、本人型から夫婦型へ、または夫婦型から本人型へ変更できます。

令和3年8月1日から1年間の保険料は、年齢に関係なく、本人型は月額4000円、夫婦型は月額6500円となっています。

詳しくは、パンフレット（6月18日付にて各市議会事務局に送付）をご覧ください。

全国市議会議員団体補償制度の概要

全国市議会議員 団体補償制度のご案内

ケガの保険（傷害総合保険）

月額4,000円（夫婦型は6,500円）で充実の補償をご提供!!

※加入対象者：市議会議員の皆さま（議員退職時に継続加入いただけます。）

制度のポイント

ポイント1　**保険料（4,000円/月）が割安!**
最大死亡・後遺障害保険金額2,280万円の補償
団体契約による割引がなければ保険料は本人型で5,000円/月となります。

ポイント2　**地震・噴火、またはこれらによる津波に起因する死亡・後遺障害・入院・通院も補償します!**

ポイント3　**個人賠償はご家族も補償します!**
日常生活で生じた自転車事故等により法律上の損害賠償責任が発生した場合に補償対象となります。
職務遂行や自動車に起因するものなどは対象外となります。

◎たとえばこんな場合、補償の対象になります。

議員活動中の事故によるケガ

地震によるケガ

自転車で他人にケガを負わせた

このご案内は概要です。詳細はお問い合わせください。

保険金額と保険料

（保険期間：2021年8月1日午後4時から1年間）
（団体割引20%）
（保険期間1年、職種級別A級）

加入タイプ	本人型	夫婦型	
ケガの補償の対象者	本人	本人	配偶者
補償内容	保険金額		
死亡・後遺障害	2,280万円	2,280万円	1,320万円
入院保険金日額	11,000円	11,000円	10,000円
通院保険金日額	5,200円	5,200円	4,100円
個人賠償責任	2億円	2億円	
特定感染症危険補償（葬祭費用）	300万円	300万円	300万円
手術保険金	重大手術の場合：入院保険金日額の40倍	重大手術以外の場合：入院中の手術：入院保険金日額の20倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
月払保険料	4,000円	6,500円	

天災危険補償特約・後遺障害等級限定補償特約（第1級～3級）・手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約、特定感染症危険補償特約セット

〈お問い合わせ先〉（有）都市企画センター 〒162-0822 新宿区下宮比町2-28-328 Tel:03-5261-8539 〈引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社　SJ21-03387(2021.7.2)

資料をご希望の方は、全国市議会議員互助会までお気軽にお問合せください。☎ 03-3262-5233

SJ21-04179(2021.7.14)